

イントラネットワーク更改業務 プロポーザル評価要項

イントラネットワーク更改業務に係るプロポーザル(以下「本プロポーザル」という。)の審査に関する事項を次に定める。

1 審査手順

- (1) 書類審査(1次選考)では、提出書類に対して事務局が評価を行う。ただし、参加者が3者以下の場合は、書類審査を行わない。
- (2) プレゼンテーション(2次選考)では、提出書類を基にしたプレゼンテーションに対して評価委員が評価を行う。
 - ア 実施日時 令和6年6月11日(火) 午前10時～午後4時(予定)
 - イ 実施場所 丹波市役所本庁舎 2階 中会議室
 - ウ 実施時間 1者あたり70分以内。プレゼンテーション(40分)、ヒアリング(30分)程度。

2 評価方法

- (1) 評価委員会は、評価委員が評価表により採点したものを集計した合計点数の最高得点獲得者を受託候補者として選定する。ただし、評価委員の平均点数が150点満点中90点に達した者がいないときは、受託候補者の選定は行わない。
- (2) 評価委員が採点した点数が同点となった場合は、委託上限額内で見積金額の低い方を上位とする。
- (3) 書類審査とプレゼンテーションの評価項目及び配点は同一とする。
- (4) 評価項目及び配点は、次のとおりとし、満点を150点とする。

評価項目	評価基準	配点
基本的な 取り組み方針	(ア) 本市が抱える課題の解決につながるような、意欲的な取り組み方針が示されているか。履行期間を有効に活用して、調査、改善提案等が十分に行えるスケジュールとなっているか。 (イ) プロジェクトの管理手法(品質管理、進捗管理、問題把握等)について明確に示されているか。プロジェクト実施に向けた人的リソースが確保されているか。	15点
提案内容評価	(ア) 提案者が考える新ネットワークの全体像が分かりやすく示されているか。現行ネットワークからの改善点が具体的に示され、それらが本市にとって有益か。 (イ) ネットワーク冗長化方式や、主要な機器の冗長化方式等、ネットワークの堅ろう性確保策や障害発生時の回避策が十分に示されているか。障害が発生した際	65点

	<p>の代替経路、代替機器への切り替わり時間、業務への影響等が最小限となるよう考慮されているか。</p> <p>(ウ) 通信トラフィックの可視化や、ネットワーク異常の検知及び通知等の仕組みが示されているか。それらが本市イントラネットワークの安定性向上や管理負荷の軽減等に繋がる提案であるか。</p> <p>(エ) 現行ネットワークから新ネットワークへの移行計画及び移行手法が具体的に示されているか。現行ネットワークとの並行稼働や移行に伴う本市への影響を最小限に留めるよう、配慮等がなされているか。</p> <p>(オ) 製品選定の理由が明確で、他の機器との連携や職員間コミュニケーションの円滑化、セキュリティの向上等、丹波市の課題解決を図れるような製品選定をしているか。(その製品を導入することによる市のメリットが明確か)サイジングの根拠、将来的な機器拡張性などが示されているか。</p> <p>(カ) できる限り長期の機器保守パッケージを付帯しているか。機器保守の条件が当市の負荷軽減につながっているか。</p> <p>(キ) 既存ネットワーク設定 (VLAN・IPアドレス含む) の調査・棚卸、ルーティングの見直し等から改善を実施するまでの道筋や手法が具体的に示されているか。新ネットワークの導入に伴い、既設のファイアウォール (本調達外) の役割とルールの見直しを行うための実践的なノウハウを有しているか。</p> <p>(ク) 既存ネットワーク機器の利用状況調査、または将来に向けての拡張性を考慮して、最適な機器選定を行うまでの道筋や手法が具体的に示され、それらが本市にとって有益か。2次施設のスイッチに接続しているLANケーブルの状況確認やその整理、更新不要スイッチの撤去など、更改タイミングを活かして細かい業務に対応できる体制を確保しているか。</p> <p>(ケ) 追加提案内容がネットワークの安定性・利便性・安全性の向上等に繋がり、本市にとって有益か。職員の利便性が高まり、業務の効率化や働き方の改善につながるような内容であるか。</p>	
保守・運用	<p>(ア) 保守・運用のサービス内容が本市の要件以上の水準であり、それらを確実に履行するための保守要員・体制となっているか。丹波市との役割分担が明確になっているか。更改後も技術の進展を積極的に取り入れ、常に課題意識を持ってネットワークの改善提</p>	35点

	<p>案ができる体制になっているか。</p> <p>(イ) ネットワーク障害の発生から解決までの過程について、想定される時間や本市側で必要な動きなどが分かりやすく示されているか。</p> <p>(ウ) 新ネットワークの運用にあたり、システム担当職員の運用負荷軽減や利便性向上、人材育成に繋がるような支援メニューが具体的に示されているか。</p> <p>(エ) システム担当職員からの問い合わせに対し、新ネットワークに関する技術的な助言を行い、軽微なネットワーク設定変更には保守の範囲で柔軟に対応できる技術力と意欲を有しているか。保守業者側の担当者が変わった場合でも継続的に、技術力の差なく運用支援を行える保守の仕組みづくりが行えているか。また、その意思が感じられるか。</p> <p>(オ) 新ネットワークの保守・運用にあたり、イントラネットワークに接続しているすべてのサーバ・基盤等の保守事業者と円滑に連携するための考え方・役割分担や方針が示されているか。</p>	
実績	類似ネットワークの導入実績があるか。	5点
価格評価	初期経費及びランニングコスト（60ヶ月）が事業内容に対して妥当な額となっているか。	30点